

# 文化人類学からみた性に関する情報の社会における伝達

## The transmission of information on sexuality: Insights from cultural anthropology

田所聖志 (秋田大学)

Kiyoshi Tadokoro (Akita University)

tadokoro@gipc.akita-u.ac.jp

### 1. はじめに

#### 1-1 発表の目的と対象

性教育は妊娠出産と密接な関連がある。では、性教育が学校教育に組み込まれていない社会では、性に関する情報はどのように伝達されてきたのか。本発表は、パプアニューギニアにおける性に関する情報の伝達について、主にテワード社会の事例から報告する。本発表では、情報とはある事柄についての説明や詳細を指し、知識とは個人が獲得した情報を指す。

#### 1-2 調査の方法

現地調査では男性に対するインタビューと参与観察を行った。調査時期は 2002 年～2008 年である。なおテワード社会は人口 620 である。

### 2. パプアニューギニアの諸社会

#### 2-1 パプアニューギニア

パプアニューギニアはニューギニア島の東側を占め 1975 年に独立した国家である。保健行政と村落保健は、政府の他キリスト教宣教団によっても行われてきた。現在は UNICEF や WHO などの国際機関や各種の NGO も医療保健活動を行っている。性教育は学校教育に組み込まれていない。

#### 2-2 性対立

言語文化に関するニューギニア島の諸社会の特徴は、規模の小さな言語文化集団が約 800 存在する点である。性に関連して特徴的であるのは、多くの社会において、従来、男性と女性が明確に区分された社会生活が送られてきた点である。極端な例では、男女は夫婦であっても別々の家屋に暮らし、また村落内では男性の歩く道と女性の歩く道とが区別された。男女の社会生活を明確に区分するジェンダー規範は厳格であった。

男性のもつ観念体系によると、女性は男性よりも象徴的に劣位に位置づけられた。それによると、女性の身体は経血に由来するケガレた物質が充満しており、そうした物質に触れると男性の身体は深刻な影響を受けるとされた。女性のケガレた物質は戸口といった家屋の一部への接触や、食べ物の受け渡しなどによって徐々に男性の身体を汚染していく。生理期間中の女性が触れた食べ物は特に男性の身体にとって危険であるとされた。

以上の観念と現象はニューギニア島の多くの社会で見られ、文化人類学では男女の性対立 (sexual antagonism) と概念化されてきた。

### 3. 性に関する情報の伝達の間としてのイニシエーション儀礼

### 3-1 ニューギニア民族誌の知見

ニューギニアの多くの民族誌的研究は、性に関する情報は、男性の社会化を促すイニシエーション儀礼において年長者から年少者へと伝達されたことを示している。そして、儀礼に関する観念は、性対立と関連付けて理解されてきた。

ニューギニア島の多くの社会では、男性は3段階から6段階の年齢集団に分けられており、段階を変更するごとに儀礼が行われた。文化人類学では、そうした儀礼はイニシエーション儀礼 (initiation rites) と概念化された。男性の年齢集団の活動内容や共有された情報は、年少者や女性に打ち明けることが禁じられた。

また、イニシエーション儀礼段階の上位の儀礼が婚姻儀礼を兼ねることが多かった。婚姻儀礼を兼ねた儀礼では、年長者、特に長老によって性交と子をなすことに関する秘儀的な知識が男性に伝えられた。性に関する情報は秘儀的な知識であり、年長者の独占する知識であった。したがって、性に関する情報は、年長者と年少者の知識の不均衡を生む要素であり、年長者、特に長老のもつ支配的な立場を支える重要な要素であった。つまり、性対立を根底に置く知識の不均衡が、年長男性による支配という社会の秩序をつくっていた。

### 3-2 テワード社会の場合

ニューギニア民族誌で示された事柄は、テワード社会でも見られた。すなわち、年少者と年少者の知識の不均衡が社会の秩序の基礎となっており、そうした知識のひとつとして性に関する知識があった。

## 4. テワード社会における村落保健と性教育

以上のような性に関する情報の伝達の回路は、テワード社会では現在崩れている。そもそもテワード社会では1990年代以降イニシエーション儀礼が行われていない。また男性の多くは沿岸部の契約労働に出かけ、出かけた先で女性と恋愛関係を結ぶような場合もある。2003年に発表者は、テワードの村で行われたHIV予防教育の場に居合わせた。男女が同席する中で救護師がコンドームの利用方法を講習しようとしたものの、参加者による騒ぎが大きくなり、講習会は不十分なままで終了してしまった。

## 5. まとめ：性に関する情報の伝達の現在

現在、国際機関やNGOによってパプアニューギニアの国内ではHIV予防プログラムが盛んに行われており、そこでは性教育を含む保健指導が行われている。このことは、ニューギニアの従来で長老が年少者の男性へ伝えてきた性に関する情報が、若い看護師や救護師によって、さらに場合によっては女性から男性へと伝達されるようになったことを意味する。また、伝えられる場も、男女が同席する場であることも発生してきた。その変化は、男女の社会生活の場を厳しく区分する従来での性対立の観念に照らせば、大きな変化であろうと考えられる。

現在、HIV予防プログラムの実施をめぐる様々なトラブルも報告されている。これは、性の情報の伝達という点からも理解できるかもしれない。